

教員と学生によって作られた長椅子＝刈谷市の愛知教育大で



愛教大に「ジヨーズ」登場

教員と学生が
手作り長椅子

愛知教育大(刈谷市)の講堂ロビーに、ユニークな長椅子12脚が新設された。これまで使っていた長椅子が老朽化したため、大学側の製作要請に、技術や美術を専攻する教員3人と学生十数人が共同で応じた手作りだ。

サメが人を襲う米国映画「ジヨーズ」を思わせるサメの頭部の模様付きや、背もたれと座面に人魚とさまざまな魚を描いた作品、顔出しのパネル二つを備

えたものなど、アイデアをこらしたものばかり。椅子全体を木工道具のカンナや巻き尺、人の唇にかたどったものもある。

いずれも合板や杉などの木製で、赤や青などのアクリル塗装。長さ180×200センチ、奥行き45×60センチ、高さ45×60センチ。材料や塗料などの製作費は約35万円。設計やデザイン、工作に、3カ月を要した。関係者は「見るだけで楽しくなる。創造力の向上と経費の節減に役立ち、一挙両得」と話す。【安間教雄】